

みず むす びん  
水 結 便



みずむすび

「みやぎ型の事業運営スタート」

Vol.1  
2022年6月発行

白石市 南部山浄水場



## 事業開始式を開催

2022年4月12日、桜満開の南部山浄水場で宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）の開始を記念した事業開始式を開催しました。

式典には、村井嘉浩 宮城県知事や佐藤達也 宮城県公営企業管理者、私たち「みずむすび」からは、株式会社みずむすびマネジメントみやぎ 酒井雅史社長（当時）、株式会社みずむすびサービスみやぎ 安東武智社長など、関係者34名が出席。

爽やかな晴天の下、主催者挨拶や来賓祝辞等を行い、改めて本事業への決意や期待を共有できる場となりました。



# はじめまして、「みずむすび」です！

私たち「みずむすび」は、みやぎの水の持続を目指して導入された、みやぎ型管理運営方式を担うため、宮城県に選定された水のプロフェッショナル企業10社が集まって設立した会社です。

株式会社みずむすびマネジメントみやぎは、事業全体の舵を取る「運営権者」で、株式会社みずむすびサービスみやぎはみずむすびマネジメントみやぎからの業務委託によって浄水場、浄化センターの維持管理を担当します。

いわば「兄弟会社」の2社は、それぞれの得意分野を活かし、協力して業務にあたっています。私たちがつくった水は、県内25市町村へ供給され、さらに21市町村から排出される下水を処理しています。この水量は県内で利用・排出される約1/3に相当します。



## 1 みずむすびの経営方針

「みずむすび」では、県民の皆様生活に直結する水インフラを支える責任の重さを踏まえ、経営方針や具体的な事業計画（業務をどのように進めるかをまとめた計画書で、当社ホームページで公開しています）を定めています。

### 地域

みやぎの水を支え続ける地域の基盤を創造し、地域の皆さまと協働して、その持続的発展に貢献します。



### 信頼

安全・安心の水を安定的に供給する仕組みの構築と、透明性の高い運営と情報発信で皆さまからの信頼を醸成します。



### 革新

創意工夫と革新的技術の導入と改善を継続する仕組み作りにより、3事業一体運営の効果を最大化します。



## Pick up!!

### 事業開始式の主催者挨拶



**村井知事：**水道事業の経営環境の悪化が想定される中、全国で始めて上水道事業にコンセッション方式を採用。県が最終責任を担いながら、民間の創意工夫を最大限活用することにより、経営基盤の強化と将来の水道料金の上昇を抑制を図る本事業を開始した。宮城県は、みずむすびと連携を密にし、安全で安心な水の提供等に全身全霊で取り組んでいく。



**酒井社長（当時）：**水インフラは多くの課題を抱えている。県は官民連携で課題解決を図る決断をされた。当社は、地域・信頼・革新の3方針のもと、お約束通り事業運営を継続することだけでなく、良い情報も悪い情報もしっかり発信し、隠し事のない会社を目指す。

## 2 みやぎ型管理運営方式とは？

水事業は今、人口減少による需要減少や施設の老朽化等の危機に瀕しています。そこで県の責任を残しつつ、官民連携により民間の創意工夫を導入して、将来にわたる安定的な水道・下水道・工業用水道を持続させることを目指したのが「みやぎ型管理運営方式」です。

みずむすびは、宮城県と結んだ20年間の契約に従い、浄水場や浄化センターの運転管理、機械設備や電気設備の改築業務や修繕業務等を担当します。管路の維持管理や改築業務、水質のチェック等は引き続き宮城県が担います。

私たちのつくった水は各自治体に供給され、最終的に県民の皆様へ水を届けるのは、これまでと変わらず各自治体の役割となっています。



## 3 みやぎ型への疑問・不安にお答えします！



!! 水道料金が上がるのは困る！

水質やサービスの低下が心配…

? 公共性の高い「水」で利益を上げるなんていいの？

? 1社独占では、競争が働かないのでは？

**回答：**みずむすびでは事業運営に必要な適切な利益を含めて事業計画を定めています。この利益はみやぎ型導入後に増加したものでなく、これまでも県が民間企業に発注していた工事や委託業務の中に含まれていた利益が集まり「透明化」されたものです。その利益を含む事業計画は、県から定められた20年間の契約金額の中で、厳しい競争入札を経て策定されたもので、県の試算によれば、みやぎ型導入前と比較して10%以上の費用削減効果があるとされています。さらに水質やサービス等の水準についても、県との契約の中で厳格に定められており、みずむすびはその実現に重い責任を負っています。

## ☆ 活動紹介 ☆

4/1

### 事業スタート



4/1の深夜0時に各浄水場・浄化センターで業務の引継ぎが行われました。

5/21

### 植樹祭への参加



県南浄化センター近隣で開催された鎮守の森プロジェクトの植樹祭の運営支援を実施しました。

4/12

### ボランティア清掃



事業開始式後、南部山浄水場近隣で清掃ボランティア活動を行いました。

5/26

### 現場訓練



安心・安全な水供給等のため色々な訓練をしています。麓山浄水場では、カビ臭対応訓練を行いました。

5/19

### 第1回改善モニタリング委員会



外部有識者5名で構成された委員会で、モニタリングを通じて業務改善を検討します。

5/30

### 水道週間



6/1～の水道週間に合わせて県庁ロビーでみやぎ型や当社の紹介パネルが掲示されました。



# テク テク Tech Tech コーナー

テクニカルな用語を  
みずむすびメンバーに  
聞きに行きました。

## 「維持管理」って、何をするの？

「**維持管理**」とは、施設の機能が正常な状態で維持されるように「点検」や「検査」をして、適正に「運転」することです。浄水場を例に簡単に説明します。

「**点検**」は、各設備の運転中に異音、振動などを確認する日常点検、機器停止して簡易な整備を伴う定期点検、そして部品交換などをする精密点検などがあります。加えて、突発的に発生する故障等への修繕対応もあります。

「**検査**」は、主に水質検査です。河川水などの原水状態を把握する検査や、水道水が基準を満たすことを確認する検査があります。いつでも安心して飲める安全な水道水であることを確認しているわけです。

「**運転**」は、昼夜を問わない交代勤務体制で、水質、送・配水量や水圧等を適切に管理し、安心安全な水道水を安定的に供給できるようにしています。

各業務は密接に関わっており、日頃から情報を記録し、共有を図りながら連携しています。その蓄積が「維持管理のノウハウ」と呼ばれているものになります。

他にも、重要なこととして災害に備えた「訓練」、スキルアップや育成などの「教育」も行っています。全ては事故防止や、事故発生後に迅速かつ的確に対処することに繋がっています。



(株)みずむすびサービスみやぎ  
上工水統括部  
**武藤さん**

「緊急時でも本社に  
かけつけられるよう、  
たまに歩いて出勤  
しています！  
(歩くとは48分…)」



あなたにむすびたい情報をお届け！

# MIZUMUSUBU

第1回は、仙台市青葉区にある本社を紹介します！



みずむすび2社の従業員は  
仕切りの無い同じフロアで  
一緒に仕事をしています。

フリーアドレスとペーパー  
レスを導入した、県内を飛び  
回る拠点です。



窓から見える定禅寺通りの  
けやき並木の緑が、リラック  
スに一役買ってくれます。

--- 発行元 ---



## みずむすび

株式会社みずむすびマネジメントみやぎ  
株式会社みずむすびサービスみやぎ

〒980-0933  
宮城県仙台市青葉区立町27番21号  
TEL. 022-208-8770

ホームページで  
積極的に情報発信中！



<https://www.mizumusubi.co.jp/>